

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社プリンスホテル					
代表者名	氏名	小山 正彦	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都豊島区南池袋1丁目16番15号					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	7511 旅館、ホテル				
主たる事業の概要	設立 昭和31年6月4日 資本金 36億円 従業員数 7,666名(平成29年3月現在)					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	19571	19375	19250	19182	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	41091	39858	40470	40252	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	0		0	0	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 30 年度		

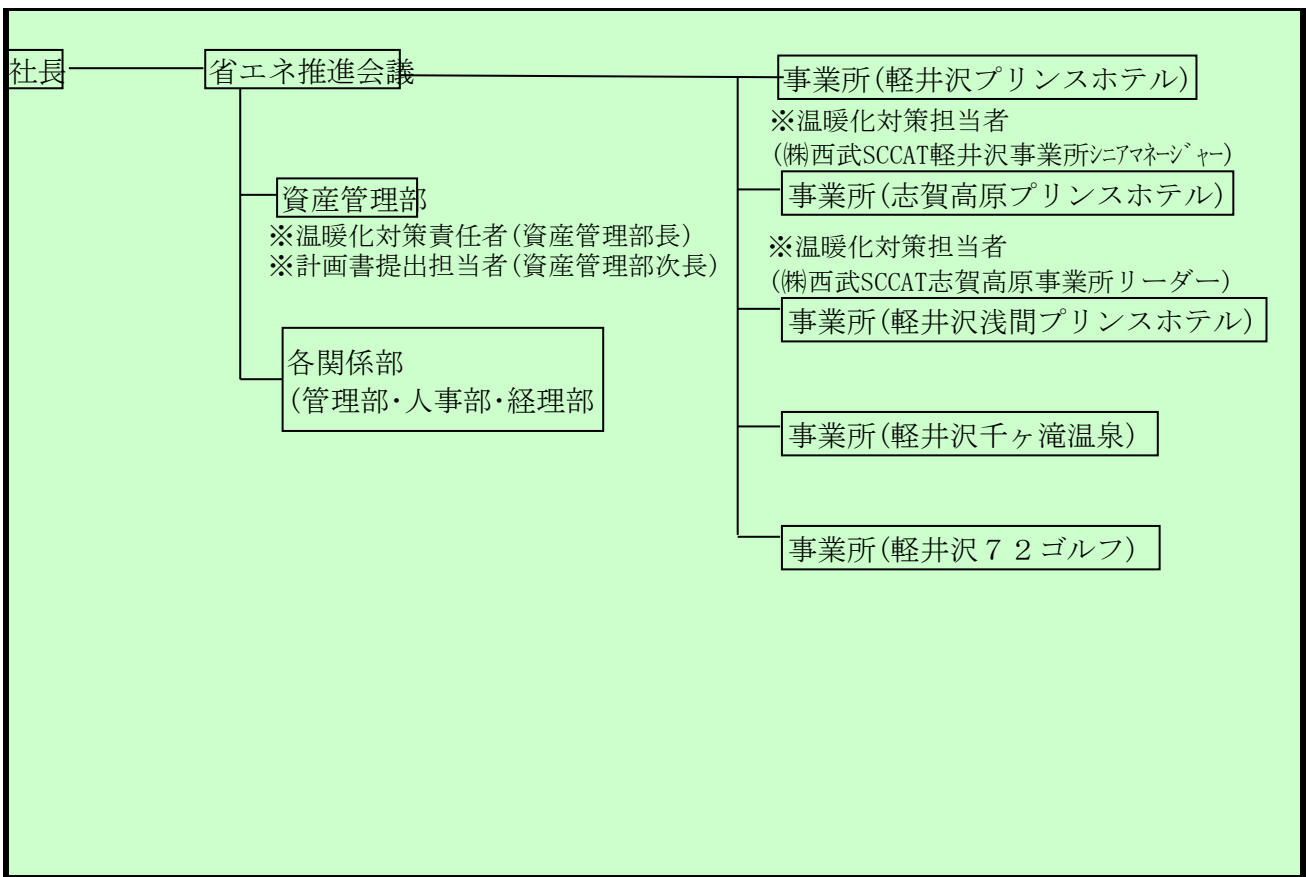
3 計画書(報告書)の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所 ; 軽井沢プリンスホテル施設管理事務所 所在地 ; 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1016-75 連絡先 ; 0267-42-8818 閲覧可能時間 ; 10:00~17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

グループ理念	私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、安全で快適なサービスを提供します。 また、お客様の新たなる感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。
グループ宣言	共に歩むこと 常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。 常に、地域社会の一員として行動します。
省エネ推進 取組方針	1. 環境や省エネに対する意識向上を図り、温暖化対策に努める。 2. エネルギー使用状況の把握に努め、無駄のない施設運転・運用管理を実施する。 3. 建物・設備のライフサイクル視点での修繕・更新計画を立案し、対策継続的に進める。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

施設担当者会議 (年2回)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	41,091	t-CO ₂	延床面積	211.00	単位	千㎡	
28年度	調整後排出量	41,013	t-CO ₂	基準原単位	194.74	t-CO ₂ /	千㎡	
目標年度	目標排出量	39,858	t-CO ₂	目標原単位	188.90	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<p>弊社では2008年より全国的に省エネ会議の実施及び同対策に取組み、会社としての管理標準の策定及び計画的な機器更新を進めて、省エネ法でいう年3%以上のエネルギーの効率化を進めてきている。長野県内事業所のエネルギー使用割合は全国の14.5%ではあるが、本県においても積極的に温室効果ガス排出抑制に努めたい。地球温暖化対策に積極的に取組むため、総量ベースで基準排出量から3%削減、原単位ベースで基準原単位から3%削減のいずれかの削減を達成するよう目標を設定した。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	40,470	t-CO ₂	延床面積	211.00	単位	千㎡	
	調整後排出量	40,412	t-CO ₂	原単位	191.80	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	1.51	%	削減率	1.51	%		
排出量等の増減理由	<p>志賀高原プリンスホテルは、基準年度が極端な売り止め期間の設定をしていたため、第一年度通常営業形態に戻した結果、対基準年度の営業日数が増となり、排出量が増となった。全体としては、照明器具のLED化(ホテルロビー、レストラン、客室やショッピングプラザ店舗)やスノーマシンの入替による機器高効率化を進め、プリンスホテル全体として-1.5%の排出量の削減となった。</p>							
第二年度	排出量	40,252	t-CO ₂	延床面積	210.63	単位	千㎡	
	調整後排出量	40,365	t-CO ₂	原単位	191.10	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	2.04	%	削減率	1.87	%		
排出量等の増減理由	<p>志賀高原プリンスホテルは、基準年度が極端な売り止め期間の設定をしていたため、第一年度と同様に第二年度も通常営業形態となったため、対基準年度の営業日数が増となり、排出量が増となった。全体としては、照明器具のLED化(ホテルロビー、レストラン、客室やショッピングプラザ店舗)やスノーマシンの入替による機器高効率化を進めた事、また72ゴルフ場の厨房改修に伴うクローズ期間の発生等により、プリンスホテル全体として-1.86%の排出量の削減となった。</p>							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	延床面積		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
28年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			
28年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	31	t-CO ₂	削減率		%
28年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
29年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握				30		
	2	エコドライブの励行				31		
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150201 改善整備 軽井沢 (ショッピング照明LED化)	29	20	29	20
2	エネ起	120201 改善整備 軽井沢 (スノーマシン更新)	29	40	29	40
3	エネ起	160103 改善整備 志賀高原 (南館油圧ELVのINV化)	29		29	
4	エネ起	150201 改善整備 軽井沢 (ショッピング照明LED化)	30	20		
5	エネ起	120201 改善整備 軽井沢 (スノーマシン更新)	30	40		
6	エネ起	120201 改善整備 軽井沢 (スノーマシン更新)	31	40		
7	エネ起	120201 改善整備 志賀高原 (東館冷凍機更新)	30			
8	エネ起	110203 改善整備 志賀高原 (南館ボイラー更新)	31			
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
水力発電 (千ヶ滝湯川第二発電所)	k w	199	0	199	199	
太陽光発電 (軽井沢ショッピングプラザ)	k w	10	0	10	10	

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	78		58	-113	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	33,535	1	32,612	1	32,910		
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,088	1	4,346	1	4,253		
1,500k1未満	3	3,468	3	3,512	3	3,089		
合計	5	41,091	5	40,470	5	40,252		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N ₂ O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	0			
合計	0	0	0	0
自動車総数	0	0	0	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	冬期季節社員他寮生活者のマイカー持込の規制を行っている
公共交通機関の利用促進	マイカー持込の規制による路線バスの利用
来客者の交通対策	最寄り駅からの無料送迎バスを運行している。
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	①県内事業所敷地内の緑化、森林の保全・育成 ②食品廃棄物の減量化の推進 ③上水道水として井水・沢水を使用 ④衛生器具の節水タイプへの更新 ⑤ゴルフ場お客様用常用カートに電気充電式を採用 ⑥客室ノークリーニングサービス実施及びウォッシュャブルスリッパの採用
第一年度実績	①県内事業所敷地内の緑化、森林の保全・育成 ②食品廃棄物の減量化の推進 ③上水道水として井水・沢水を使用 ④衛生器具の節水タイプへの更新 ⑤ゴルフ場お客様用常用カートに電気充電式を採用 ⑥客室ノークリーニングサービス実施及びウォッシュャブルスリッパの採用
第二年度実績	①県内事業所敷地内の緑化、森林の保全・育成 ②食品廃棄物の減量化の推進 ③上水道水として井水・沢水を使用 ④衛生器具の節水タイプへの更新 ⑤ゴルフ場お客様用常用カートに電気充電式を採用 ⑥客室ノークリーニングサービス実施及びウォッシュャブルスリッパの採用
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	[軽井沢PH] 油圧ELVのINV化、照明LED化、冷凍機更新、リフト・スノーマシン更新。 [志賀高原PH] 油圧ELVのINV化、ボイラーの更新(鋳鉄製から温水)、電力会社変更	約276t-CO ₂ /年
その他		